

みんなのシンポジウム

「学校をつくろう！」

沖縄の小さな学校、
珊瑚舎スコーレからの提案です。

これまでの学校からこれからの学校を
考えてみませんか。



前川喜平さん



竹内 渉さん

パネリストの紹介(写真左から下段左へ)

前川喜平さん：現代教育行政研究会 代表

竹内 渉さん：北海道アイヌ協会 元事務局長

大亀直子さん：象設計集団 設計担当

星野人史：モシリナアスコーレ設立準備会 会長

学校法人雙星舎/NPO 法人珊瑚舎スコーレ 理事長

司会 桑原さやかさん：小学校 PTA 会長

基調報告骨子

学校の中核は授業です。その授業は
児童・生徒 1 人 1 人の変容の手助け
をする場でなければなりません。そ
んな学校作りを皆さんのご協力を頂
き、是非実現したいと思えます。



大亀直子さん



星野人史



桑原さやかさん

日 時：2022年11月26日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)

会 場：北海道大学学術交流会館 講堂(北大正門を入り 30m 左側。駐車場はありません。)

参加費：無 料(手話通訳あり。託児施設は用意できません。ご了承下さい。)

定 員：300名(メール entomo@sangosya.com でご予約下さい。定員になり次第締切ります。)

主 催：モシリナアスコーレ設立準備会／学校法人雙星舎

沖縄県南城市佐敷字津波古 509-4 098-975-7781



日本の先住民族のこぼ、歴史等をカリキュラムに組み入れた学校法人雙星舎の学校作りにご協力下さい。

モシリナアスコール設立準備会 会長星野人史

私が生徒、スタッフ、講師の方たちと作る小さな学び舎、珊瑚舎スコールは2001年、沖縄県那覇市に開設されました。沖縄の言葉、歴史、文化、伝統などをカリキュラムに取り入れたフリースクールです。初等部、中等部、高等部、夜間中学校の4課程があり、NPO法人が運営して来ました。

2021年4月、学校法人雙星舎を設立し、高等部は学校法人の運営になり法制上の学校になりました。校舎も那覇市の街中から南城市の海辺に移転しました。初等部、中等部はカリキュラム編成などの自由度が高いフリースクールのままNPO法人が運営していますが、高等部と同じ校舎で活動しています。夜間中学校も2023年から学校法人雙星舎が運営する計画で、認可されれば日本で初めての私立の夜間中学校になります。

高等部は学校法人の運営になってもカリキュラム編成上の自由度は損なわれず、従来通り沖縄の言葉、歴史、文化、伝統などをカリキュラムに組み入れています。初・中・高等部の生徒数は70名、夜間中学校の生徒数は42名、生徒定員112名の小さな学校ですが、この小ささに雙星舎の学校作りに対する考えがあらわれています。それは学校教育の中核である授業を「生徒1人1人が主人公」の場として作ること、生徒、スタッフ全員が互いを固有名詞で呼び合える規模の学校、つまり「他人がいない学校」をつくることです。

学校法人名の雙星は二つ星、舎は小さな建物、日本列島の北と南で輝きを放つ二つの学校を表しています。どちらもかつて先住民族が生活の地とし、独自の文化を作り上げてきた土地です。近代国家の日本はその地を併合しました。彼らは差別、抑圧の対象となりました。言葉を奪われ、文化、伝統、習慣なども蔑ろにされた歴史があります。現在も彼らに対する差別は存在しています。文化国家を自認する日本は先住民族に対する過去を直視し、蔑視の目から敬意の目で彼らの文化の基盤となる様々な「観」、自然観や人間観などですが、その「観」を見つめ直すことが必要です。その眼差しは、花綵(かさい)列島と呼ばれる日本列島をその名の通り、蔑視・差別・抑圧から敬意・交感・共生の花綵に相応しいものに変える力を持っていると思います。眼差しの変容には小さな試みの積み重ねが必要です。それは日常の中で多様な「観」と向かい合うことです。

雙星舎が学校名に使っているスコールはギリシャ語を語源とする「暇」の意で、スクールの語源ですが、その暇は自分作りなどの積極的な時間のことを言います。雙星舎はスコールを自己と他者が向かい合い、互いの変容を育む時間と考えています。校名に使う所以です。豊かな「スコール」が日常的に用意された場、その具現化がこれからの学校の姿と考えています。とりわけ10才前後からの10年間程の学び、異質な他者と場を共にする授業、そこには人間の宝物が埋もれている、そここそが学校だ！と私は考えています。

私は私財を20年余りの沖縄の学校作りに使って来ました。残りは雙星の一つ、北海道で作るモシリナアスコール設立のために使いたいと考えています。モシリはアイヌ語で大地、ナアはウチナー口で庭、大地の庭に建つ小さな学び舎という校名の学校です。二つの課程を開講する準備をしています。一つは昼間開講するモシリナアスコール義務教育部(法制上の中学校とフリースクールの小学校)、もう一つは義務教育未修了者対象の夜学校、星観(ほしみ)中学校です。沖縄と同様、昼、夜合わせて生徒定員112名の小さな学校です。

校舎は雪国の特性を考慮したSDGsに基づくエコシステムで設計されています。内装などすべて木製の校舎です。校庭には畑や農作業のための小屋などがあり、一見すると欧州のとても大きな木造農家のような外観の学校です。冬は雪対策も講じなければなりません。南の沖縄で作る学校よりも建設費はかさみます。

しかし、私に残された貯えは1億円程度です。校地取得とその他の費用に当てなければなりませんので、モシリナアスコール開校の資金としては全く十分な額ではありません。校舎建設等(3億5千万円)とその他の費用で合計4億円程の資金が必要と考えています。大勢の方々からのご援助を心からお願い申し上げます。

※連絡先 〒901-1414 沖縄県南城市佐敷津波古509-4 モシリナアスコール設立準備会

TEL 098-975-7781 MAIL hoshino@sangosya.com

※寄付金振込先 ・郵貯銀行(普)記号17030 番号18981501 ・北洋銀行 旭ヶ丘支店 (普)0249501

・琉球銀行 与那原支店 (普)700045 ・名義(3行とも):モシリナアスコール設立準備会 会長星野人史